

1 国語

科目名	現代文B	単位数	5	学年	第3学年	科 コース	普通科 進学コース
使用教科書	第一学習社「標準 現代文B」			副教材			

学習の到達目標

1. 現代の言語文化に対応しうる読解力や感受性を育成し、ものの見方・感じ方・考え方を深めさせる。
2. 読書によって人生を豊かにする態度を培い、自らを表現する姿勢につなげる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	自己を見つめる 『「私」という「自分』』 小説を読む 「デューク」	文章の流れをつかみ、論理的な要素を持つ随想の読解方法を身に付ける。筆者の思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大する。小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を理解する。作品世界の読解を踏まえ小説の内容について批評ができるようにする。
	5	新しい発見 「新しい地球観」 言葉と生活 「情けは人の・・・」 詩を味わう 「そこにひとつの席が」「この世」	文章の論理的な構成を捉え筆者の主張を理解する。新しい発見に目を向け日常生活を深めるきっかけとする。筆者の主張や考えを適切に読み取る力を身に付ける。身のまわりの言葉や自らの言語生活について考える契機とする。近代詩・現代詩に親しむ。鑑賞のしかたを学ぶ。技法について学ぶ。想像力を豊かにし言葉に対する感性を磨く。
	6	小説を読む 「鼻」	近代の代表的な小説を読解・鑑賞する力を身に付ける。小説表現の豊かさを学び以後の読書生活に反映させる。小説世界を自分に引き付けて考える態度を養う。
	7	世界を見つめる 「ワスレナグサ」 小説を読む 「卒業」 新しい視点 「物語を発見する力」	文章の中から問題点を見つけ、それについて考える心を養う。筆者の体験を追体験することで現代社会について考える糸口とする。小説のより深い鑑賞と読解の力を身につける。働くこと、生きることをめぐる小説を読むことで自己と世界との関わりを見つめ直し同世代への興味を抱く契機とする。文章の理論構造を把握し筆者の主張を正確に読み取る。筆者の主張に対して自分なりの見解を持つ。
二 学 期	9	短歌と俳句 「折々のうた」	近代俳句・近代短歌に親しむ。作品と鑑賞文との対応関係を理解し優れた鑑賞文を味わう。各作品に詠まれている自然や人生を味わい自分を取りまく自然や生活を見つめる目を深める。
	10		
	11		
12			
三 学 期	1		
	2		
	3		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。